

# 名古屋大学法科大学院のICT利用 ～LMS・講義収録システム・STICS～

法科大学院教育におけるICTの活用に関する調査研究協力者会議  
(第2回)2016(H28)年8月3日 於文部科学省

名古屋大学大学院法学研究科・教授  
PSIM法実務技能教育教材研究開発コンソーシアム代表  
藤本 亮

# ラーニング・マネジメント・システム (CANVAS LMS)

2016ロイヤリングA

2016年度

ホーム

アナウンス

課題

ディスカッション

成績

メンバー

ページ

ファイル

要綱

成果

クイズ

モジュール

設定

教員→受講生  
 受講生→教員  
 多方向  
 教員間

The screenshot displays the Canvas LMS interface for the course '2016ロイヤリングA'. The left sidebar contains navigation options: ホーム, アナウンス, 課題, ディスカッション, 成績, メンバー, ページ, ファイル, 要綱 (highlighted), 成果, クイズ, モジュール, and 設定. The main content area shows the course overview with the following details:

- コース要綱: (9300042)ロイヤリングAクラス
- 【講義基本情報】
  - 教員: 川合伸子
  - その他の教員: 藤本 亮、吉浦勝正(非常勤)、大橋善和(非常勤)
  - 科目種別: 実務基礎
  - 開講時期: 前期
  - 対象年次: 3年(2年コース2年)
  - 開講時間: 金2
  - 単位数: 2
  - 必修の有無: 選択
  - 教室: 文系総合館409/410
- 講義概要: 民事事件の紛争処理過程において必要な弁護士の基本的技能の習得を目指す授業である。即ち、依頼者との面接・相談から始まり、関係者からの事情聴取、証拠収集、相手方との交渉、様々なADR手続による解決など、実際の紛争処理過程を模擬体験させることにより、紛争処理のために必要な弁護士の基本的技能が何かを学び、それを身につけさせる。また、紛争処理過程を模擬的に体験することなどを通じて、紛争処理の場面によって弁護士がいかにあるべきかを理解する。
- 到達目標:
  - a. 具体的な紛争を事案に即して適切に解決することができる。
  - b. 書証や当事者の言い分などの生の事実から重要な事実を抽出して、法的に分析・構成することができる。
  - c. 模擬相談や模擬交渉などの実践場面において、相手方の意見や考えを十分に理解すると共に、自分の意見や考

Additional elements in the screenshot include a calendar for August 2016 and a message: 'コース課題が重み付けされていません'.

シラバス提示、資料配布、課題提示・採点・成績通知、連絡等  
 課題提出、テスト回答、課題提出、成績通知等  
 ディスカッション(授業別のBBSシステム)等  
 科目横断的に閲覧できるように運用を工夫

2016年度より学部・研究科全体でLMSをCanvasに変更(主として、名古屋大学IDを用いたログインシステムを導入し、独自IDを排してセキュリティレベルを高めるため)

2016年度前期法科大学院での利用状況は、シラバス配布は全科目(印刷物なし)、課題提示・回収利用は約半数の科目、ディスカッション(BBSシステム)は4分の3の科目

# インデックス付講義収録システム(お助けくんノートシステム)

2004(平成16)年度文部科学省法科大学院等専門職大学院形成支援プログラムに採択された取組「自分の技量を随時確認できる多様な環境構築」プロジェクトから展開

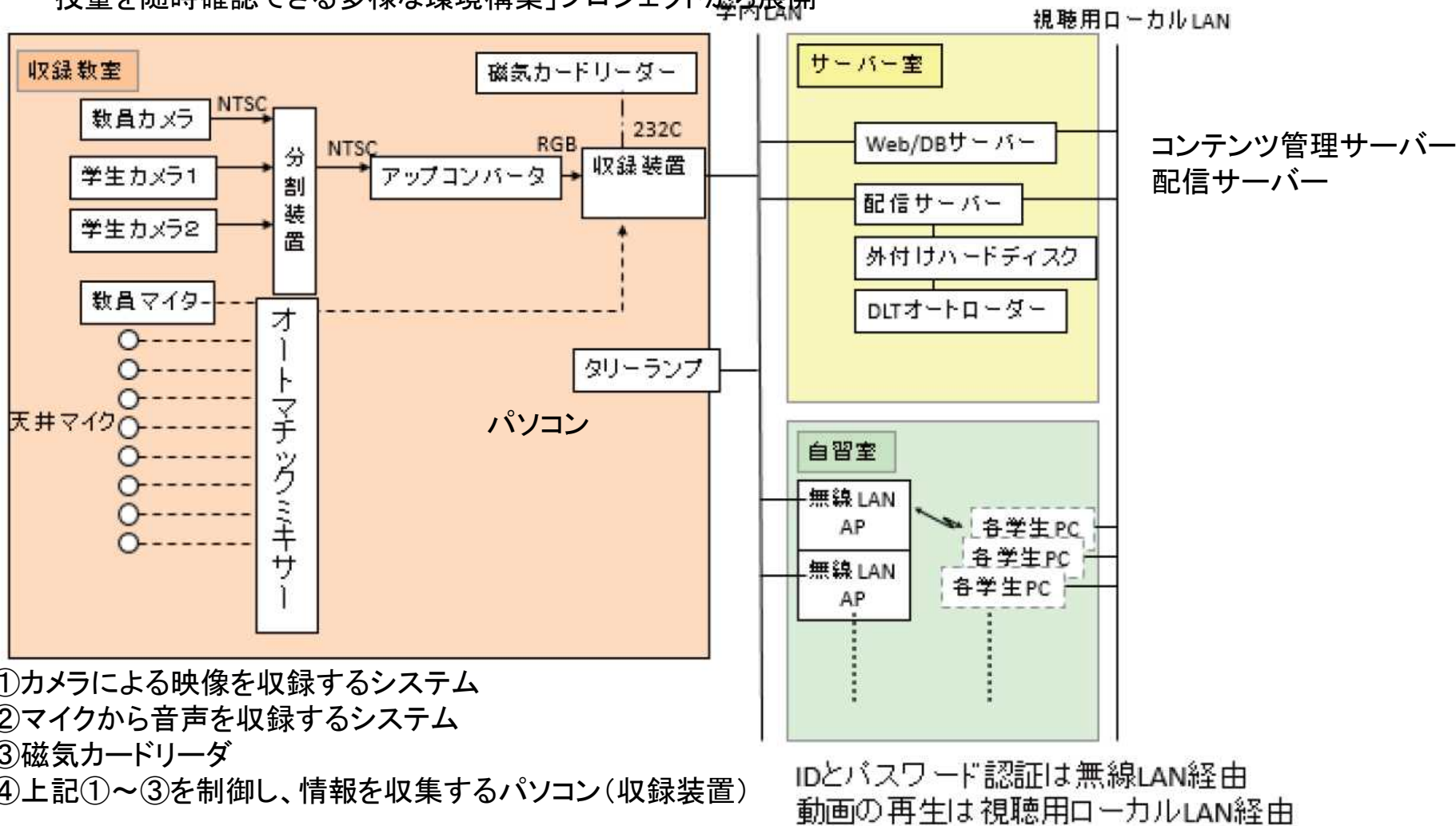
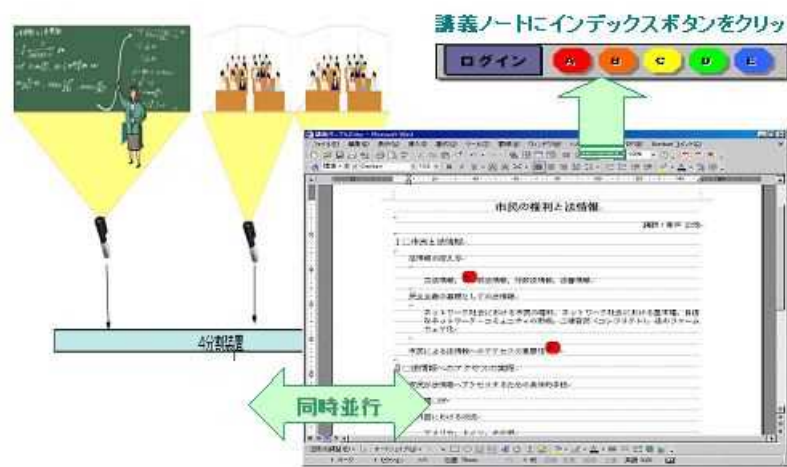


図8 講義収録システム構成図

富崎おり江(2015)「名古屋大学法科大学院における1人1台端末を活用した学修環境と学修支援」名古屋大学法政論集、第262号、431-448頁。

# インデックス付講義収録システム(お助けくんノートシステム)



【出典:お助け君ノート】

このシステムでは、講義や演習と同時平行してデジタルビデオ録画を行います。講義や演習に参加する学生は、授業を受けているときに、パソコン画面にある(「わからない」「もう一度確認したい」「あとでじっくり検討したい」というような)ボタンを押して、パソコン上の自分の講義ノートに目印(タグ)をつけます。

学生は、講義終了後、ノート上のタグをクリックし、そのノートにタグをつけた時点の講義の様子をビデオ・オン・デマンド方式で再生し、よくわからなかった講義箇所、もう一度復習したいと考えた講義箇所の映像をいつでも見ることができます。

名古屋大学法科大学院ウェブページより

# インデックス付講義収録システム(お助けくんノートシステム)

①講義収録データの学修目的以外の使用の禁止

②自らの登録クラスのみ視聴可能

③個人使用の徹底、学外者への公開等の禁止

④画像・音声の無断複製についての禁止

講義収録データを利用期間は在学期間の視聴を保障し、最長3年間を予定する(ただし、運用状況に合わせて適宜調整)。視聴時は名古屋大学IDとパスワードによる個人認証を行い、視聴可能場所は自習室のみ

(表1) 講義収録システムで収録する講義

	1年次	2年次
公法系	憲法基礎	
	行政法基礎	
民事系	民法基礎	
	商法基礎	
		民事訴訟法
刑法系	刑法基礎	刑事訴訟法

⑤受講者の過半数の希望により利用。基本的には過半数が利用希望であることを推定、半数以上の利用拒否があった場合には利用を中止する

⑥利用反対者の肖像権等に関しては、席の調整、カメラアングルの調整(学生用カメラの停止を含む)によって対応

⑦利用拒否の申し出はクラス委員を通じて教務学生掛に申し出る。申し出は随時可能

⑧対象クラスの学生の過半数が利用希望の場合、利用協力義務を負うものとする

⑤～⑦については適用例なし、⑧については一例のみ

富崎おり江(2013)「名古屋大学法科大学院におけるICTを活用した法曹の養成」名古屋大学法政論集、第250号、631-656頁。

# インデックス付講義収録システム(お助けくんノートシステム)

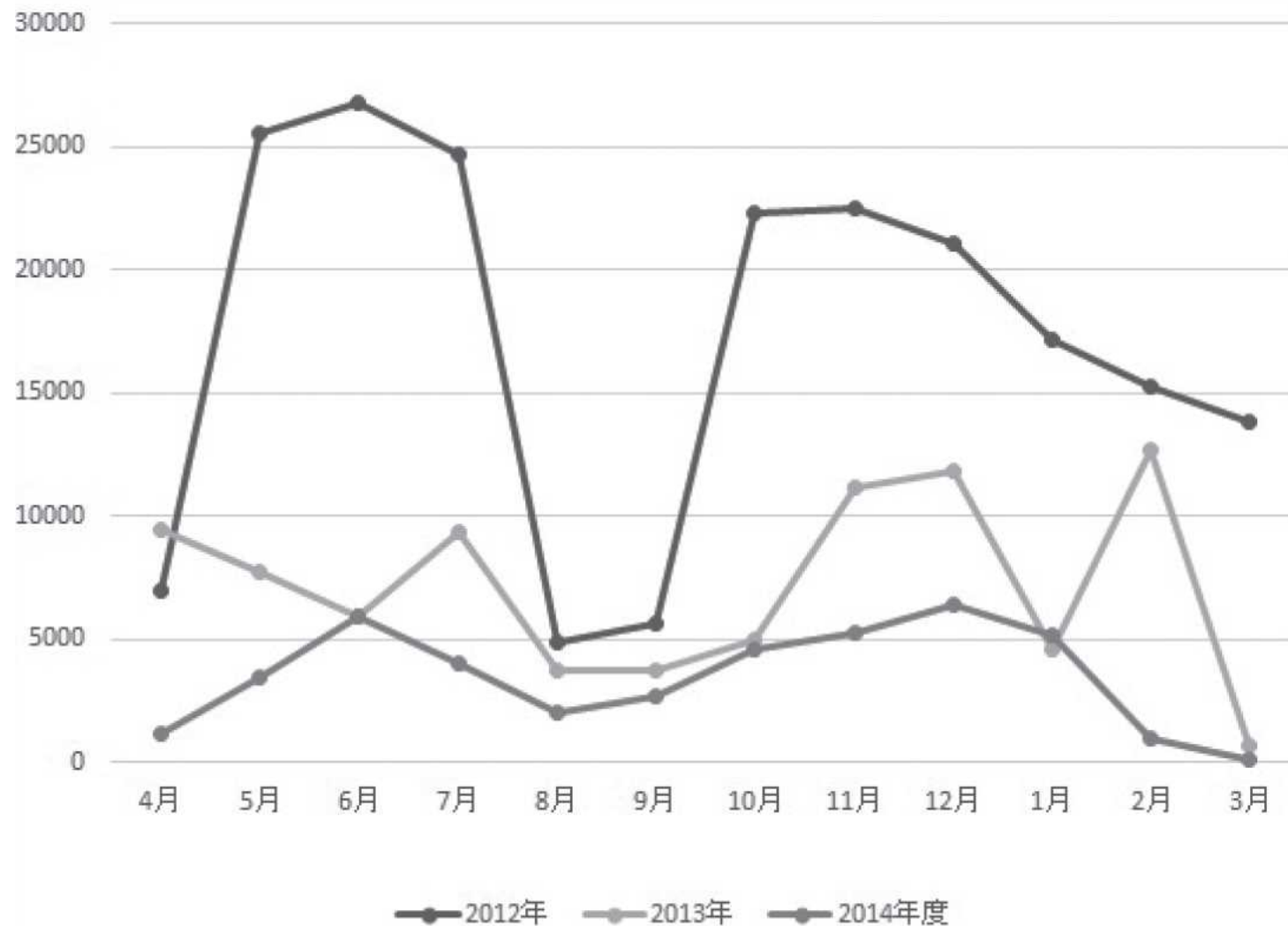


図9 講義収録システムアクセス数

富崎おり江(2015)「名古屋大学法科大学院における1人1台端末を活用した学修環境と学修支援」名古屋大学法政論集、第262号、431-448頁。

# 動画映像による実技評価システム

2004-2006(平成16-18)年度文部科学省法科大学院等専門職大学院形成支援プログラムに採択された共同プロジェクト「実務技能教育教材共同開発共有プロジェクト」およびその成果を継承した「PSIMコンソーシアム(法実務技能教育教材研究開発コンソーシアム)」が開発・改良。PSIMコンソーシアムは2007(平成19)年度設立、2016(平成28)年7月末現在32大学で構成。

## 法廷教室におけるDRS(Digital Recording Studio)

DRS(Digital Recording Studio)は、法廷教室における模擬裁判などの様子を記録するためのシステムです。教室には複数台のカメラとマイクが設置されており、それらを用いて撮影を行います。四方向からのカメラにより、裁判官席、被告(弁護人)席、原告(検察官)席、証人席の映像をそれぞれ独立して撮影できます。これらの4つの映像に加え、各席に設置されたマイクの音声を感知して自動的に切り替えを行い、発言のあった席を中心に自動編集される5つめの映像を記録することも可能です。

映像は専用のハードディスクにMPEG2形式で保存されます。収録直後から記録された5つの映像を見直すことができるため、即時のフィードバックが可能です(図9)。またDRSは、映像の収録中に複数のインデックスを付すことができます。収録後に振り返りを行う際には、インデックスを用いて該当場面を容易に検索し提示することが可能です。



図9 DRSによる5画面でのフィードバック画面

円卓法廷教室には3画面のDRSシステム

金子大輔・菅原郁夫(2006)「名古屋大学法科大学院における授業支援システムの現状」名古屋大学情報連携基盤センターニュース Vol. 5, No. 1, 3-10頁。(本報告にあたり一部藤本が加筆)

# 動画映像による実技評価システム

## STICS | Stream Indexing and Commenting System

「STICS」は収録した画像を専用のサーバーに登録し、それをインターネット経由でストリーミング配信するシステムで、映像収録したものをインターネット上で限定されたメンバーに公開し共有することが最大の特長です。「見る画面」では、映像の閲覧のほか、任意の場面にコメントを付与することができます。また、「読む画面」では、複数の参加者のコメントを一覧で表示したり、特定の個人やグループのコメントだけをピックアップして表示することもできます。また、「読む画面」でコメントをクリックすることによって、当該コメントが付与された場面から「見る画面」で映像が再生されるので、効率的な振り返りが可能となっています。

### 【映像表示欄】

専用のサーバにアップロードされた映像を、ストリーミング配信で視聴することができます。

### 【コメント表示欄】

場面毎にコメントを付与ことができ、掲示板形式で意見交換を行うことも可能です。

The screenshot displays the STICS (Stream Indexing and Commenting System) web interface. At the top, the logo 'STICS Stream Indexing and Commenting System' is visible, along with user information 'Logout 管理HELP 一般HELP' and 'Login User: 奥田 [相簿管理]'. Below the navigation bar, the page title is '見る画面 タイトル: 法律相談映像(サンプル) クラス権限: 管理者'. The main content area features a video player showing a scene with three people in a meeting room. To the right of the video is a comment section with two entries. The first comment is from '奥田 (ID: 7902 Time: 14:17:09)' and the second is from 'クラスSC(テスト) (ID: 7905 Time: 14:18:05)'. Below the video player, there are controls for '10秒前', '00:14:22 (36.2s) [Paused] 10秒後', and buttons for 'コメント挿入', '読み書きを表示', and '最大化'. At the bottom, there is a 'コメント読み込み' section with a dropdown menu set to '全て' and a 'コメント読み込み' button. Below that is an '映像説明' section with the text '法律相談の映像(サンプル)です。' and '映像登録日: 2013-02-25 15:14:37'.

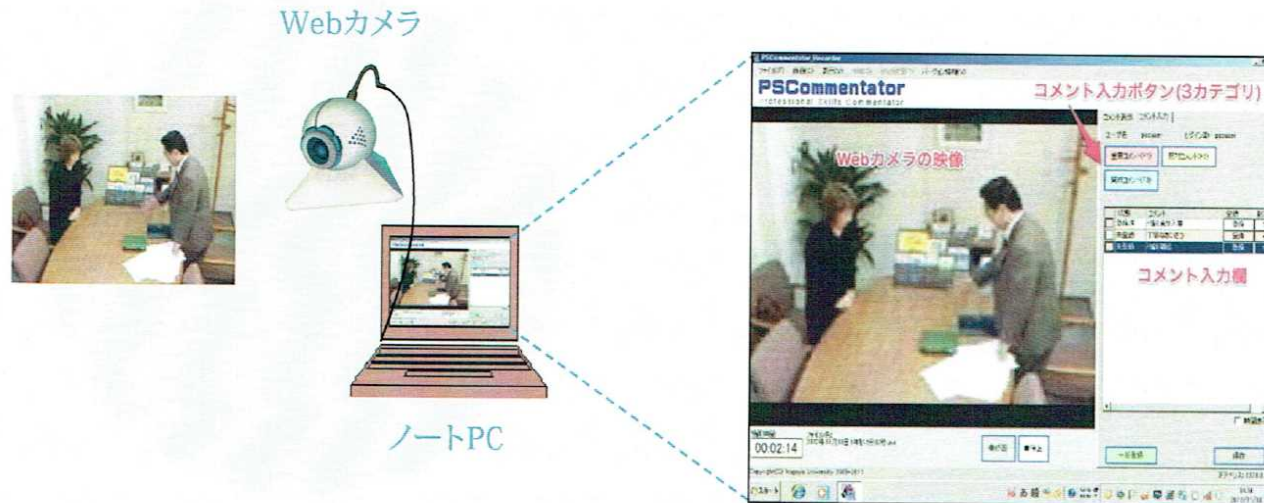
PSIMコンソーシアムパンフレットより



# 動画映像による実技評価システム

**PSC** | Professional Skills Commentator

「PSC」は、模擬裁判や模擬相談などのシミュレーション場面を録画することで、コメント付きの映像教材を手軽に作成・提示することができるソフトウェアです。「ノートPC」と「Webカメラ」があれば、映像の収録に加えて、「STICS」の基本的な機能(映像の視聴・場面毎のコメント付与・該当場面からの映像再生)を実現できます。



PSIMコンソーシアムパンフレットより

以上の「動画映像による実技評価システム」は、「刑事模擬裁判(「刑事実務基礎」の一部)」「民事模擬裁判」「法と心理学」等の授業で、また愛知県弁護士会主催の「模擬裁判対抗戦」でも一部利用。また、新規の法実務教育教材開発と継続法曹教育を兼ねて、愛知県弁護士会の関係部会と共同して実施している「模擬法律相談」研修の一部においても利用。